

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

令和元年度

市町村名	加須市					
提案事業名	広域避難を重点にした防災啓発事業					
事業期間	30年度～30年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 講演会等の参加者数					
	(成果検証の具体的な方法) 防災啓発に係る講演会や説明会等に参加した人数を把握する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (H30年3月時点)	1,423	目標値 (H31年3月時点)	3,000	実績値 (H31年3月時点)	2,921
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページに掲載予定				

【事業効果の整理・原因分析】

平成30年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 水害時の避難行動計画（マップ）策定事業	○	広域避難を啓発する水害時の避難行動計画（マップ）等の策定は、市民意識を確実に変えるツールとして幅広い世代で活用できるとともに、多言語版防災Webマップによる水害時の避難行動計画（マップ）等の公開は、若い世代を中心にその活用が図られるなど、災害への備えに対する効果は大きい。
② 水害時広域避難啓発事業	○	東京大学大学院情報学環特任教授である片田敏孝氏を招聘し、利根川右岸・左岸における水害時の広域避難対策についての講演会を開催（平成30年7月21日）するとともに、携帯トイレを各地区の防災訓練で配布したことにより、市民一人ひとりの防災意識の向上に対する効果は大きい。
③		
④		
⑤		

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	合併後初めて策定した加須市全体の水害時の避難行動計画（マップ）等を策定し全戸配布することにより、地震と水害時の対応が異なる点や、水害時の広域避難を市民に分かりやすく説明するツールとなり、今後、様々な場面で幅広く活用できるようになった。
実施事業について 成果が不十分である点	水害時の避難行動計画（マップ）等の全戸配布は完了しているが、配布した水害時の避難行動計画（マップ）を活用した各地域ごとの説明会の開催は、令和元年6月下旬から8月上旬を予定している。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後開催する各地域ごとの説明会は、水害が多く発生する9月までに開催するとともに、水害時の避難行動計画（マップ）等を有効に活用し、より多くの市民に防災意識の向上や、日頃の災害への備えを万全にさせていただくための啓発を行う。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 \geq (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値-従前値) \times 60%+従前値 \leq 実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない